

事業内容

①展示機器代替整備

当初代替が必要と考慮していた展示機器について、平成21年度中は正常に機能していたため、代替整備を中止した。

②演示機器定期整備

博物館内の演示機器類を良好な状態で運用するための定期的な整備を各々実施した。

a. Q&Aシアターの整備

クイズ形式で学習を進める映像システムを用いた展示コーナーで、あるQ&Aシアターについて、光ディスクプレーヤーをはじめ周辺機器の点検により、良好な維持整備を行った。

実施日：上期 平成21年7月13日

下期 平成21年12月7日

b. 操船シミュレーションの整備

実機の操船機器とコンピュータグラフィックを用いた操船システムが好評な展示機器である操船シミュレーションについて、システムの点検により映像ソフトの損傷やバグの発生を防止し、良好な維持整備を行った。

実施日：上期 平成21年7月6日

下期 平成21年12月14日

c. 船長ロボットの整備

羊蹄丸展示物の中でマスコット的な存在の空気圧で可動する人物模型である船長ロボットについて、駆動素子や構成部材の保全整備を行った。

実施日：上期 平成21年7月6日

下期 平成21年12月7日

d. シーアンドシップワールド及び青函ワールドの整備

実寸大のジオラマを用いた羊蹄丸の主要展示コーナーであるシーアンドシップワールド及び青函ワールドは、展示品と見学者を隔てない展示手法を用いており、展示物品の損傷が進み易いため、定期的な保全整備を行った。

実施日：上期 平成21年7月13日

下期 平成21年12月14日

e. アクアビジョンの整備

コンピュータグラフィックを用いて地球の過去・現在の様子を解説した展示機器であるアクアビジョンについて、システムの点検により映像ソ

フトの損傷やバグの発生を防止し、良好な維持整備を行った。

実施日：上期 平成21年7月6日

下期 平成21年12月7日

f. メディアテーブルの整備

コンピュータグラフィックを用いて海底の様子を解説した展示機器であるメディアテーブルについて、システムの点検により映像ソフトの損傷やバグの発生を防止し、良好な維持整備を行った。

実施日：上期 平成21年7月6日

下期 平成21年12月14日

g. 展示品保険料

展示場における展示品への保険を付保した。

実施期間：平成21年4月1日～平成22年3月31日

③展示品保守業務委託

21年度は休館日を除いて専従技術員2名により、博物館展示品の保守管理を行った。

当該業務は展示場における日常の保守管理全般を行うもので、主たる業務は毎日の展示機器・照明の立ち上げ・立ち下げならびに展示物の清掃等の定型的作業から演示機器の修理調整や模型の修理、説明パネルの修復など多岐にわたっている。

特に、動態展示物の分解修理や展示物支持架台の補強といった営繕作業、電子機器類の修理・調整等は高い専門性を必要としている。主要な展示物は年間計画に従って定期保守整備を行い、正技術員2名は専門性の高い作業を主体に、また副技術員（週2日勤務）は管球類の交換、展示物の清掃などの一般的作業を主体に実施した。

休日や夏休み期間中は主としてラジコン船コーナーに常駐し、同コーナーの電子機器の保全に従事した。

契約日：平成21年4月1日

（前年度の契約業者と同条件により随意契約とした。）

実施期間：平成21年4月1日～平成22年3月31日

完了日：平成22年3月31日

④ボランティア活動

船の科学館に初めてボランティアを受入れてから14年が経過し、博物館活動を行っていくうえで重要な存在になっている。

組織としては、商船大学OBの海洋会（29名）、旧東海銀行OBの東友会（5名）、木造帆船模型同好会のザ・ロープ（25名）、元宗谷乗組員

(10名)、帆船愛好会のソルティフレンズ(22名)、元青函連絡船の乗組員等(74名)の総勢165名が活動登録している。

毎日の活動では、専門知識を活かした来館者への対応、船の科学館で行われる様々な行事の補助、来館者への館内施設の案内等を行った。また、昨年に引き続き海や船のことを来館者により理解していただく行事として、海洋会・宗谷のボランティアの方々による「海の男のギャラリートーク」を開催した他、東友会ボランティアによりミュージアムツアーを行い、あわせて4,704名の参加者があり好評を博した。

実施期間：平成21年4月1日～平成22年3月31日

延活動人数：1,433名

⑤博物館施設の運用保守管理

a. 船の科学館施設の運用保守管理

船の科学館施設の運用保守管理については、博物館事業の円滑な運営に資するとともに、来館者への快適な博物館施設環境の維持に努めた。

契約日：平成21年4月1日

(前年度の契約業者と同条件により随意契約とした。)

実施期間：平成21年4月1日～平成22年3月31日

完了日：平成22年3月31日

b. 昇降機保守点検

昇降機保守点検については、本館エレベーター、羊蹄丸エレベーター、羊蹄丸エスカレーターの各設備とも、年間契約に基づき、本館エレベーターは月2回、羊蹄丸のエレベーター及びエスカレーターは月1回の定期点検を実施するとともに、不具合等緊急時の対応など、博物館運営に支障のないよう適正な設備管理を行った。

契約日：平成21年4月1日

(羊蹄丸エレベーター、羊蹄丸エスカレーターについては、設備の性格上確実な安全を求められるので、当該設備施工業者による随意契約とした。)

実施期間：平成21年4月1日～平成22年3月31日

完了日：平成22年3月31日

c. 消防設備点検

消防設備点検については、前年と同条件のため前年度契約書の自動延長条項に基づく1年自動更新とし、年2回(平成21年6月、12月)の定期点検を実施した他、関連設備の軽度な不具合等については、その都度点検調整を実施するなど、博物館施設の適正な安全環境の維持に努めた。

契約日：平成21年4月1日

(前年度の契約業者と同条件により随意契約とした。)

実施期間：平成21年4月1日～平成22年3月31日

完了日：平成22年3月31日

d. ビル管理システム保守点検

ビル管理システム保守点検については、年間契約に基づき、年2回（平成21年8月、平成22年2月）の総合定期点検を実施した他、不具合発生の際に都度緊急修理を実施するなど、博物館運営に支障のないよう適正な設備管理を行った。

契約日：平成21年4月1日

(前年度の契約業者と同条件により随意契約とした。)

実施期間：平成21年4月1日～平成22年3月31日

完了日：平成22年3月31日

e. 自動扉保守点検

自動扉保守点検については、年間契約に基づき、年4回（平成21年6月、9月、12月、平成22年3月）の定期点検を実施するとともに、不具合発生の際に都度調整を行う他、主要部品交換を伴う不具合等については点検実施に合わせて契約外の別途修理を行うなど、博物館運営に支障のないよう適正な設備管理を行った。

契約日：平成21年4月1日

(自動扉は設備の性格上確実な安全を求められるので、当該設備施工業者による随意契約とした。)

実施期間：平成21年4月1日～平成22年3月31日

完了日：平成22年3月31日

f. ごみ管路収集設備保守点検

ごみ管路収集設備保守点検については、年間契約に基づき、年3回（平成21年4月、7月、10月）の定期点検を実施した他、平成22年1月に年次精密点検を実施した。軽度の不具合調整については、契約作業としてその都度実施するなど、博物館運営に支障のないよう適正な設備管理を行った。

契約日：平成21年4月1日

(前年度の契約業者と同条件により随意契約とした。)

実施期間：平成21年4月1日～平成22年3月31日

完了日：平成22年3月31日

g. 羊蹄丸可動歩廊点検

羊蹄丸可動歩廊点検については、年間契約に基づき、年2回（平成21年7月、平成22年1月）の定期点検を実施するとともに、不具合発生

の都度調整及び部品交換するなど、羊蹄丸乗降に支障のないよう適正な設備管理を行った。

契約日：平成21年4月1日

(契約金額が少額であるため、過去に実績のある業者と随意契約とした。)

実施期間：平成21年4月1日～平成22年3月31日

完了日：平成22年3月31日

h. 電話交換機保守点検

電話交換機保守点検については、年間契約に基づき、定期点検を毎月実施するとともに、制御ソフトの更新をその都度実施するなど、博物館運営に支障のないよう適正な設備管理を行った。

契約日：平成21年4月1日

(契約金額が少額であるため、過去に実績のある業者と随意契約とした。)

実施期間：平成21年4月1日～平成22年3月31日

完了日：平成22年3月31日

i. 玄関シャッター点検

玄関シャッター点検については、年間契約に基づき、年2回（平成21年6月、12月）の定期点検を実施した他、不具合発生の都度調整を行うなど、博物館運営に支障のないよう適正な設備管理を行った。

契約日：平成21年4月1日

(契約金額が少額であるため、過去に実績のある業者と随意契約とした。)

実施期間：平成21年4月1日～平成22年3月31日

完了日：平成22年3月31日

j. 受変電設備点検

受変電設備点検については、設備特性及び作業コスト節減のため船の科学館本館受電設備特高压部、同低压部、羊蹄丸受電設備の3区分に分割し、見積合わせにより最低価格業者と契約締結のうえ、平成21年12月28日の年末休館日に全館停電の下で設備法定点検整備を行った。また、不具合箇所調査、補修等についても点検作業とともに本事業内業務として整備するなど、博物館施設の適正な安全環境の維持に努めた。

・船の科学館受変電設備定期点検工事〔特高压部〕

契約日：平成21年12月18日

実施日：平成21年12月28日

完了日：平成21年12月28日

・船の科学館受変電設備定期点検工事〔低压部〕

契約日：平成21年12月18日

実施日：平成21年12月28日

完了日：平成21年12月28日

・羊蹄丸受変電設備定期点検工事

契約日：平成21年12月18日

実施日：平成21年12月28日

完了日：平成21年12月28日

⑥絵図・図面等の電子化

展示の難しい図面等の電子化を実施した。

制作期間：平成22年3月29日～6月30日

対象資料：スケッチブック A3サイズ 20冊（622頁）

船舶図面 最大A0サイズ 795点

絵画 最大A0サイズ 200点

事業目標の達成状況

① 展示機器代替整備

整備中止。

② 演示機器定期整備

博物館内の演示機器類を良好な状態で運用するための定期整備を実施したことにより、来館者への快適な展示環境を提供することができた。

③ 展示品保守業務委託

博物館展示機器の保守業務を担当する要員を毎日2名配置したことにより、展示機器類の保守及び不具合等に対する迅速な対応ができ、来館者への快適な展示環境を提供することができた。

④ ボランティア活動

博物館業務に係るボランティアを受け入れたことにより、来館者による質問等への対応など海事科学知識の普及活動をより充実したものとすることができた。

⑤ 博物館施設の運用保守管理

船の科学館施設の運用保守管理業務を24時間体制でビル管理会社に委託するとともに、諸設備の法定点検・定期保守点検等を、設備メーカー・専門

保守管理会社との委託契約によって実施し、安全な施設環境を確保することにより、来館者への適正かつ快適な見学空間を提供することができた。

⑥絵図・図面等の電子化

保存の観点から常設展示できない絵図や、それ自体の長さや大きさなどから展示が難しい図面等の電子化を実施し、読書ルーム内の既存システムへ追加して来館者に公開した。